

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 林業安全衛生対策強化支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 担い手企画係 電話番号：058-272-8491

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,764 千円 (前年度予算額：7,876 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,876	3,778	0	0	500	0	0	0	3,598
要求額	7,764	3,522	0	0	500	0	0	0	3,742
決定額	7,666	3,473	0	0	500	0	0	0	3,693

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和3年の林業における労働災害の発生頻度は全産業中で最も高く、全産業平均の約9倍と極めて高い状況にある。

労働災害の減少に向けて、森林技術者等の安全意識やチェーンソー操作技術の向上を図ることが重要である。

(2) 事業内容

○安全意識の向上

1) 作業現場における労働災害未然防止研修

労働災害防止及び発生時への備えを目的に、消防署と連携し林業労働災害被災者を安全かつ迅速に救出するための知識と手順等を学ぶためのレスキュー訓練を実施する。

2) 林業・木材製造業労働災害撲滅推進協議会の運営

行政・関係団体・事業体等で構成する協議会において、官民一体となり労働災害撲滅に向けた取組を行う。

○伐倒等チェーンソー操作技術の向上

3) 岐阜県伐木安全技術評価会

チェーンソーの操作技術と安全動作を重視している日本伐木チャンピオンシップ(JLC)の基準に準じた評価会を開催し、安全なチェーンソー操作技術の向上を図る。

4) 基礎技術・知識習得のための講習会

適切なチェーンソーのメンテナンスを学ぶための管理講習を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10（地方創生推進交付金、諸収入、一般財源）

林業労働災害は全産業の中で最も高く、また岐阜県内の労働災害発生件数は全国でも多い状況であり、県が率先し労働安全対策に取り組む必要がある。

(4) 類似事業の有無

労働安全巡回指導費補助金（林災防の労働安全指導員が行う巡回指導への支援）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	484	労働災害レスキュー訓練に係る外部講師他
旅費	649	講師旅費、職員旅費
需用費	361	消耗品費、燃料費
役務費	50	通信運搬費
委託料	6,120	伐木安全技術評価会
使用料	100	会場費(レスキュー訓練、林業木材製造業労働災害撲滅推進協議会)
合計	7,764	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画において、森林技術者の確保・育成・定着は施策の柱に位置付けており、10万m³当たりの死傷災害発生件数を令和8年度に6件まで減少することを目指している。

(2) 後年度の財政負担

後年度においても、地方創生推進交付金等を活用するなど県が負担する。

(3) 事業主体及びその妥当性

<事業主体> 県

<妥当性> 他県と比べて災害発生件数が多く、労働災害減少に向けた取組みは、県が重点的に行う必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

第4期岐阜県森林づくり基本計画に基づき、10万m³当たりの死傷災害発生件数を令和8年度までに6件まで減少を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
①死傷災害発生件数	12.1	11.2	10.0	9.0	9.0	100%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・林業事業体を対象にした安全衛生対策アンケート調査の実施（回答60件） ・安全な伐倒技術を学ぶリモート研修会（延33名・16団体） ・岐阜県伐木安全技術評価会の開催（競技参加者20名）
	指標① 目標：__6.0__ 実績：__12.1__ 達成率：__50__ %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県伐木安全技術評価会の開催（競技参加者20名） ・林業労働災害レスキュー訓練の開催（2回実施、参加者41名）
	指標① 目標：__6.0__ 実績：__11.2__ 達成率：__54__ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ __ 実績：__ __ 達成率：__ __ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	林業労働災害発生件数が多い岐阜県において、災害発生時に備えたレスキュー訓練やチェーンソー操作技術の向上を図る伐木安全技術評価会の実施等、安全意識や技術の向上を図る取り組みは重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	岐阜県内の林業における死傷災害発生件数は減少傾向にある。(R1:51件、R2:44件、R3:43件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	令和3年度は委託で実施していたレスキュー訓練を、令和4年度からは事業費を削減し県自力での実施に変更する等、年々事業の効率化を意識しながら実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 林業・木材製造業労働災害撲滅推進協議会の運営(事務局)については、関係団体等と調整し、検討していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 林業労働災害の減少・撲滅を図るためには、安全技術や安全意識の向上が不可欠であり、今後も継続して実施していく必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	なし
組み合わせる理由 や期待する効果 など	